様式４

令和元年9月25日

令和元年度　　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　２　学校名　呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○前年度末の課題（生徒の返事や発言の声が小さい，生徒のメディアコントロールに課題がある）に対応した目標を設定している。 ○指標についても，生徒や教職員のアンケート結果と両面から設定している。
目標達成のための方策の適切さ	A	○１学期の方策や今後の方策についても適切である。 ○目的（課題）に応じたタイムリーな指導を行っている。 ○今後とも，取り組む前には，常に昨年度の成果と課題を確認し，重点化・焦点化して取り組んでほしい。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○生徒アンケート，保護者アンケート，教職員アンケートと三者の評価を集め，具体的に結果を把握し，分析している。また，データだけでなく管理職の観察など，直接関わる中で見取っている。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○１学期の取組の成果と課題を整理し，焦点化した具体的な改善を望んでいる。
その他	＜授業参観を通して＞ ○昨年度の課題であった，生徒の返事や発言の大きさは改善されてきている。発言の声の小さい生徒には，タイムリーに指導をしていた。今後も，自分の考えを述べても，はっきりと相手に聞こえることが基本であるので指導を継続してほしい。 ○ICTを活用しながら，興味や関心を高め，効果的に学習している。 ○導入部分に工夫があり，生徒に学ぶ必要感を抱かせている。 ○ペアやグループを活用しながら，生徒同士で関わり合う場面もあり，自分の考えを表現する場がある。 ○体験しながら学ぶことができるよう工夫されている。 ●少人数の学級の良さを生かして，一人一人の生徒がしっかりと自分の考えを表現できる場をできるだけ多く設定してほしい。そして，他者の意見を参考にしながら，再度個人で自分の考えを広げてほしい。 ＜全体を通して＞ ○生徒はあいさつをしっかりとしてくれる。授業中の立腰も意識している。 ●今後も，昨年度の成果と課題を生かしながら，積み上げる教育活動を期待する。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	①授業改善について【ことば磨き】 （1）自分の考えやそのように考えた根拠を述べる指導を行う。 （2）授業者は，生徒に根拠を持って自分の考えを述べることができるよう，教材の工夫や発問の精選を行う。 ②生徒のメディアコントロール能力の育成について （1）2学期のPTCにおいて，スマホの利用と生活リズムについて協議する場を設定する。 （2）生徒の自律能力を鍛えるための保護者を巻き込んだ生活改善プログラムの研究を進める。 ③教職員の業務改善による生徒に直接向き合う時間の確保について （1）必ず昨年度の成果と課題を確認し，改善策を定め今年度の実践を行う。（スクラップ＆ビルドの視点で） （2）今年度の実施した取組の成果と課題を受けて，来年度の計画（改善案）を作成しておく。